

SOGI セクシャル オリエンテーション 性的指向 (Sexual Orientation) と ジェンダー アイデンティティ 性自認 (Gender Identity) の頭文字。一人一人の性のあり方を指す広い概念

性的指向	性自認
異性を好きになる人 ヘテロセクシャル (Heterosexual)	身体の性と心の性が一致する人 シスジェンダー (Cisgender)
同性を好きになる女性 レズビアン (Lesbian)	身体の性と心の性が一致しない人 トランスジェンダー (Transgender)
同性を好きになる男性 ゲイ (Gay)	
異性のことも同性のことも好きになる人 バイセクシャル (Bisexual)	



一人一人の性のあり方を大切に 性の多様性について考えよう

多様な性のあり方

多様な性のあり方
LGBTという言葉をご存じですか。LGBTはレズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダーの頭文字を取った言葉です。性的マイノリティ(少数者)の総

称としても使われますが、LGBT以外にもさまざまな性のあり方があります。

また、最近では、SOGIという言葉が使われるようになりました。これは、性の要素である性的指向(好きになる人の性)と、性自認(自分自身が認識している自分の性。こころの性)を表した言葉で、性的マイノリティも、そうでない人もすべての人が持っている性の要素を表しています。

さまざまな調査から、日本では人口の8%~10%(約11人に1人程度)が性的マイノリティの人たちと推定されており、その多くが、周囲の理解不足や偏見、間違った認識のために、さまざまな「生きづらさ」や「悩み」などの困難を抱えていると言われています。(引用元:電通ダイバーシティ・ラボ「LGBT調査2018」)

性的マイノリティかどうかは、見た目やしぐさ、言葉遣いだけではわかりません。「自分の周りにはいない」と思い込んでしまうと、知らず知らずのうちに相手を傷つけてしまうかもしれません。差別

や偏見を恐れて打ち明けられない、できない当事者は多く、「見えていない」だけです。

アウトティング

本人の許可なく性的マイノリティであること(性自認・性的指向に関する情報など)を第三者に話してしまうことを「アウトティング」と言います。当事者からのカミングアウト(表明)により知り得た情報が、当事者の意図しないところで広がってしまうことは、当事者にとって命にも関わる重大な人権侵害であり、許されることではありません。

自分らしく暮らせる社会をめざして

一人一人に個性があるように、性のあり方は人それぞれ違い、男性、女性の2つの性に、はつきりと分けられるものではありません。

誰もが自分らしく幸せに暮らすことができる社会の実現には、それぞれがお互いを尊重し、大切な存在として受け止め合える関係構築することが大切です。周りに理解のある人が増えていくことにより、当事者の困難が少しずつ軽減されていくのではないのでしょうか。多様な性のあり方について、ま

ずは「知る」ことから始めてみましょう。

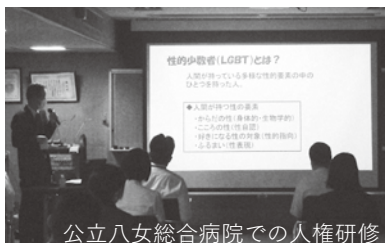
性的マイノリティへの正しい理解のために

近年、性的

マイノリティに関する社会的関心が高まってきており、八女市でも、理解を深めるために職員研修を行う事業所が少しずつ増えてきています。

今年11月には、公立八女総合病院で「LGBTを学ぶ」誰もが自分らしく生きられる社会のために」と題し、性の多様性についての研修が行われました。

参加者からは、「無意識、無理解による言動が相手を傷つける可能性があることを理解した」「世の中が多様な性を受け入れることが当たり前となってきたら、あたためて認識した」「職場や患者さんへの対応に配慮するきっかけとなった」「今後ますます認識を深め、誰もが行きやすい病院、働きやすい職場となることを目指していきたいと思えます」などの感想が寄せられました。



公立八女総合病院での人権研修